

令和 7 年度 定 期 総 会

日時 令和7年6月20日（金） 午後1時00分～

場所 名張市蔵持市民センター



一般社団法人
名張市観光協会

定 期 総 会 次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 来賓祝辞

4. 定足数の報告

5. 議長選任

6. 議 事

第1号議案 令和6年度 事業報告について

第2号議案 令和6年度 収支決算報告について
監 査 報 告

第3号議案 役員の改選について

第4号議案 令和7年度 事業計画（案）について

第5号議案 令和7年度 収支予算（案）について

7. そ の 他

8. 閉 会

令和6年度 事業報告

令和6年度における観光動向は、国内旅行とインバウンド（訪日外国人旅行）の双方において、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準への回復と、新たな変化への適応が同時に進んだ一年であった。

国内旅行においては、物価高の影響等もあり国内旅行消費額が約4.8兆円と過去最高を記録し、一人当たりの旅行支出も増加傾向にある。

インバウンドにおいても令和6年には年間で3,687万人と過去最高を記録した。特に令和7年1-3月期には四半期として初めて1,000万人を超えるなど、力強い伸びを示した。令和5年の訪日外国人旅行消費額は5兆3,065億円と過去最高を更新し、令和6年には更に伸びて年間8兆1,257億円に達した。これは円安の進行や、一人当たりの旅行支出の増加が寄与している。

市内観光地においても令和5年度から引き続き賑わいを取り戻す動きが見られ、特に赤目四十八滝では入込客数が12万4千人を超え、コロナ禍以降最多を記録した。

このような状況の中、一般社団法人名張市観光協会（以下、「観光協会」という。）では、継続してSNSやホームページによる情報発信に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様にリアルイベントに出展し、市内外に向けて名張市の魅力を発信することにより市内への誘客へ取り組んだ。

また、観光関連事業者のDX化支援の一環としてGoogleビジネスプロフィールの積極的な活用に取り組む等、旅行者ニーズに応じた取組を事業者が戦略的に行うための支援を重点的に実施した。

（出展元：国土交通省観光の現状について、令和6年版観光白書について（概要版）、来客数・消費額で過去最高を記録した2024年 観光庁インバウンド消費動向調査の分析ほか）

I 公益事業に関わる事業

1 観光まち歩き事業

(1) 「ボランティアガイドと歩こう」の開催

開催日	テーマ等	実参加者数
4月1日（月）	「桜咲く青蓮寺湖を歩く」 （約6 km）	47人
5月20日（月）	「新緑の赤目の里を巡る」 （錦生～赤目）（約6 km）	47人
10月20日（日）	「名張にもあった新田開発」 （約6 km）	27人
11月18日（月）	「初瀬街道 蔵持の里へ」 （約7 km）	38人
12月8日（日）	「名張 町なか 文学碑を巡る」 （約5 km）	37人

(2) ボランティアガイド「おきつも」の活動支援

ボランティアガイド「おきつも」の事務局として、次の取組を行った。

○定例会への参加（毎月第3木曜日）

観光資源の発掘、観光誘客を推進する観点から定例会に出席し、活動内容を共有しガイドとの緊密な連携に努めた。

○研修会の実施

・視察研修

目的 ガイドとしての知識を深め案内スキル向上の機会確保

実施日 令和7年3月13日（木）

視察地 奈良県（法隆寺及び周辺ほか）

・月次研修

原則として月1回、課題に対応したテーマを定め座学や現地学習を実施した。

・講座情報の共有と積極的な参加促進

ガイドに対し名張市、市内の地域づくり組織等が開催する郷土を知るための各種学習会への参加の呼びかけを行った。

(3) 観光ボランティアガイドのまち歩きへの活用促進

○観光客からの申し込みによる個別ガイド

利用実績

申込者住所	申込件数（参加人数）		
	令和5年度	令和6年度	増減
市内	5（140）	7（174）	+2（+34）
市外	9（101）	5（108）	-4（+7）
計	14（241）	12（282）	-2（+41）

対応したガイド人数 延べ26人

○名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館のガイド配置

配置日数 91日

ガイド配置数 延べ221人

配置日における入館者数 両施設計 1,072人

2 なばり観光案内所

名張のまち歩きの出発点として、来訪者に対し季節やトピックに応じた情報提供を実施した。

II 観光客の誘致促進に関する事業

1 インフォメーション業務について

なばり観光案内所機能の充実

○訪日外国人の受け入れ体制の充実

JNTO認定外国人観光案内所（カテゴリー1）の施設として、JNTOと連携して訪日外国人の受け入れを実施した。

・年間受け入れ実績 67名

○パンフレット類配架スペースの有効活用

会員のパンフレット・チラシ類のほか名張市後援事業等のチラシ・ポスター類を配架・掲示し、広報機能を果たした。

○観光案内所での対応

年末年始及び11月以降の火曜日（火曜定休導入後）を除き、午前9時から午後4時まで営業した。

窓口対応 年間 3,292件

電話対応 年間 1,293件

旅行会社・情報誌・ネット事業者・報道機関への情報提供 125件

旅行会社	10
情報誌	21
ネット	87
報道	7

2 情報発信について

(1) ホームページの充実とSNS発信の強化

○ホームページ

・公式ホームページ 年間ページビュー数 208,905 P V
(令和5年度 225,996 P V)

・ホームページトップ画面

名張市が実施した「#名張感動」投稿キャンペーンの応募写真（受賞作）等を季節ごとに掲載（年4回×6作品程度）

・大型バナー

「名張川納涼花火大会」「赤目四十八滝幽玄の竹あかり」のプロモーションとして、実施時期に合わせて大型バナーを掲載

・お知らせ

観光客への注意喚起やイベントの募集案内等、特に重要な情報を掲載（年17本）

・四季のブログ

取材に基づき、季節に応じたコース紹介の情報発信を実施（年11本）

○SNS

SNSによる情報発信は、X（旧Twitter）をメインに据えている。市内の天気情報、会員情報、観光情報をバランスよく選定し、投稿した。

フォロワー数 X 4,142人（令和5年度 4,024人）

Instagram 1,636人（令和5年度 1,641人）

フェイスブック 911人（令和5年度 901人）

投稿数 X 818本

Instagram 19本

フェイスブック 20本

(2) ガイドマップ、ポスター、チラシによる情報発信

「なばり観光ガイドマップ」を、案内所のみならず市内観光施設や三重県観光連盟等各所で配架したほか、各種イベント時に配布した。

3 プロモーション事業の推進について

(1) 名張駅西口イルミネーション 竹あかりの実施

点灯期間 令和6年12月6日（金）から令和7年2月16日（日）まで

※桜の開花に合わせたライトアップについても実施

(2) 観光キャンペーン等の推進

○忍びの里伊賀・甲賀リアル忍者現る！（令和6年9月7日（土）～8日（日））

忍者ゆかりの地である名張市・伊賀市・甲賀市が合同で、大阪・船場で開催された観光物産展に出展した。当協会は、名張市ブースにおいて日本酒の試飲、青蓮寺のぶどうの試食を行ったほか、ミニやしんぼセット、グッズの販売、観光パンフレット配布による観光PRを行った。そのほか名張市の地域おこし協力隊と連携し、竹あかりの製作体験コーナーを設け、市内への誘客に取り組んだ。

○きんてつハイキング（令和6年11月9日（土））

近畿日本鉄道株式会社（以下、「近鉄」という。）の主催で開催された「★紅葉で彩られた赤目四十八滝と各店舗でお得盛りだくさん 約12km」に協力し、案内所を訪問された観光客の皆様に、本イベント等の案内を行った。

○名張物産観光展～なばりEXPOチャレンジ～（令和7年3月11日（火））

大阪・梅田の地下街”ディアモール大阪”円形広場横のイベントスペース「ディーズスクエア」にて開催された『名張物産観光展』に出店した。

当イベントでは、伊賀米や地場野菜をはじめとした名張市の特産品販売だけでなく、赤目四十八滝のVR体験が実施された。観光協会としては、ミニやしんぼセット、グッズの販売を行ったほかパンフレットの配布を行うなど、市内への観光誘致に取り組んだ。

(3) にぎわい創出イベント補助金の交付

市内の地域団体等が観光振興、地域の活性化を目的に開催するイベントに係る経費の一部（上限5万円）を補助金として交付した。

4団体から申請があり、3団体に対し交付した。（1団体は取下げ）

(4) 交通事業者や各メディア、オンライン上のプロモーション展開

○NEXCO中日本

「ぶらりMAP」春夏号及び冬号に赤目四十八滝の広告を掲載するとともに、オプションサービスを活用して東名・名神高速道路のドライブイン3か所になばり観光ガイドマップを配架した。

○三重テレビ 新・ええじゃないか～いい旅 いい発見～

令和6年12月2日（月）放送の「歴史街道・初瀬街道をめぐる旅」へのロケ前の情報提供を行った。

○その他メディア対応

年間を通じて情報誌、ネット記事、テレビ等への情報提供を行った。

(5) 各種イベントへの参画

- ・名張桜まつり（実行協議会構成員）
 - ・名張川納涼花火大会（実行委員会構成員・事務局）
 - ・名張秋まつり（実行委員会構成員）
 - ・八日戎（広報窓口・連絡先・福娘の募集、「えびす汁」振る舞いの協力）
 - ・松明調進行事（情報発信）
- (6) 企業主催イベントへの共催・後援
 企業や民間団体主催の事業に対し、共催、協力、後援等により協力するとともに情報発信に努めた。（具体的な内容は前述の各項目参照）

4 観光商品、旅行商品の販売促進について

- (1) ふるさと納税の返礼品受発注委託業務
 会員の新規企画の実現に向けて、手続きや企画提案を実施した。
- (2) 「なばりでお菓子屋さんめぐり」事業
 食べ歩きや歴史をテーマに市内周遊を促進する観光商品として、ブログやSNSで情報発信を実施した。参加事業者と緊密な連携を図り、原材料高に即応した交換商品の見直しを行った。
- (3) 「やしんぼセット」事業
 お菓子観光のまち「なばり」をアピールするツールとして内容の充実を図った。弾力的に商品を組み替え、原材料高に伴う価格変動に対応した。
- (4) 名張市観光DX活用支援事業（Googleビジネスプロフィールの活用支援）
 観光関連事業者が運用する「Googleビジネスプロフィール」（GBP）のデータ収集・分析のデジタル化を支援し、35の事業者に対し集客力向上につながる取組を進めた。
- (5) 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を見据えた観光誘客
 名張市産業活性化推進協議会（通称「ナウダツ」）に委員・プロジェクトチームとして参画した。
- (6) レンタサイクル事業
- ・名張市から無償で借り受けているクロスバイクをレンタサイクルとして貸し出し、市内周遊の手段として旅行者に提供した。
 - ・レンタサイクル及び会員店舗の利用促進を目的に、近隣市村在住者及び指定店舗利用者に対し、レンタサイクル利用料の一部を返還するキャッシュバック事業を実施した。
- (7) 歴史街道推進協議会による動画制作
 歴史街道推進協議会の制作する旅の星Ⅱ「大自然と歴史の地 名張」の撮影を支援した。

Ⅲ 会員事業と協会運営に関わる事業

1 協会経営の合理化について

- ・ 厳しい財政状況の中、名張市より2名の派遣職員を受け入れ、観光協会の運営の効率化を進めた。
- ・ 自主自立運営のため名張市から事業を受託したが、観光協会の独自事業につながる収益源の確保には至らなかった。
- ・ 機動的な意思決定ができる協会組織運営に向けた役員体制の見直しに取り組んだ。

2 会員特典の明確化と会員数を増やす取組について

電車deマルシェin大阪上本町をはじめとするイベントの出展案内、Googleビジネスプロフィール活用の導入支援等、会員に対し時勢に即応した一連の取組を実施した。

3 職員体制の充実

なばり観光案内所を2名のスタッフで継続することが困難なことから、不定期かつ突発的な代行協力者を確保した。

貸借対照表

令和 7年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,217,191	9,775,707	1,441,484
未収金	2,249,529	2,668,907	△ 419,378
たな卸資産	269,856	611,050	△ 341,194
流動資産合計	13,736,576	13,055,664	680,912
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
構築物	304,767	349,367	△ 44,600
保証金	0	9,770	△ 9,770
繰延資産	3,073,950	3,529,350	△ 455,400
その他固定資産合計	3,378,717	3,888,487	△ 509,770
固定資産合計	3,378,717	3,888,487	△ 509,770
資産合計	17,115,293	16,944,151	171,142
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,184,864	436,687	2,748,177
未払法人税等	72,000	180,400	△ 108,400
未払消費税等	76,700	658,800	△ 582,100
預り金	142,662	218,345	△ 75,683
その他流動負債	569,126	605,776	△ 36,650
流動負債合計	4,045,352	2,100,008	1,945,344
2. 固定負債			
長期借入金	3,362,334	3,931,460	△ 569,126
固定負債合計	3,362,334	3,931,460	△ 569,126
負債合計	7,407,686	6,031,468	1,376,218
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	9,707,607	10,912,683	△ 1,205,076
正味財産合計	9,707,607	10,912,683	△ 1,205,076
負債及び正味財産合計	17,115,293	16,944,151	171,142

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日 から令和 7年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	1,860,000	1,701,000	159,000
特別会費	500,000	500,000	0
受取会費計	2,360,000	2,201,000	159,000
事業収益			
事業収益	18,555,597	19,903,044	△ 1,347,447
受取負担金			
受取負担金	2,725,129	2,792,523	△ 67,394
雑収益			
受取利息	5,499	104	5,395
雑収益	96,148	49,802	46,346
雑収益計	101,647	49,906	51,741
経常収益計	23,742,373	24,946,473	△ 1,204,100
(2) 経常費用			
〔事業費〕			
期首たな卸高	611,050	685,200	△ 74,150
仕入高	6,285,908	6,003,241	282,667
期末たな卸高	△ 269,856	△ 611,050	341,194
臨時雇賃金	7,557,986	5,637,515	1,920,471
福利厚生費	696,075	659,233	36,842
旅費交通費	523,446	22,760	500,686
通信運搬費	385,923	84,115	301,808
消耗品費	311,624	141,389	170,235
修繕費	2,800		
印刷製本費	271,519	447,260	△ 175,741
水道光熱費	82,321	18,544	63,777
賃借料	1,140,439	23,166	1,117,273
保険料	15,370	50,799	△ 35,429
租税公課	406,708	658,800	△ 252,092
負担金支出	40,060	1,100	38,960
委託費	3,919,010	2,513,341	1,405,669
広告宣伝費	188,310	1,084,393	△ 896,083
補助金	0	145,859	△ 145,859
雑費	35,215	0	35,215
事業費計	22,203,908	17,565,665	4,638,243

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔管理費〕			
臨時雇賃金	201,856	1,970,447	△ 1,768,591
福利厚生費	541,367	369,588	171,779
旅費交通費	370	0	370
交際費	0	8,346	△ 8,346
通信運搬費	209,147	347,879	△ 138,732
減価償却費	44,600	44,600	0
消耗品費	35,206	39,984	△ 4,778
修繕費	0	18,420	△ 18,420
印刷製本費	16,610	109,641	△ 93,031
水道光熱費	6,048	63,024	△ 56,976
賃借料	187,319	1,144,846	△ 957,527
租税公課	54,993	43,209	11,784
支払負担金	220,540	117,815	102,725
委託費	643,410	537,900	105,510
支払手数料	42,845	17,107	25,738
支払利息	0	38,391	△ 38,391
繰延資産償却 雑費	455,400 11,830	455,400 960	0 10,870
管 理 費 計	2,671,541	5,327,557	△ 2,656,016
経 常 費 用 計	24,875,449	22,893,222	1,982,227
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,133,076	2,053,251	△ 3,186,327
当期経常増減額	△ 1,133,076	2,053,251	△ 3,186,327
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
車両運搬具売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,133,076	2,053,251	△ 3,186,327
法人税、住民税、及び事業税	72,000	180,400	△ 108,400
当期一般正味財産増減額	△ 1,205,076	1,872,851	△ 3,077,927
一般正味財産期首残高	10,912,683	9,039,832	1,872,851
一般正味財産期末残高	9,707,607	10,912,683	△ 1,205,076
Ⅱ 正味財産期末残高	9,707,607	10,912,683	△ 1,205,076

収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費				
正会員会費収入	1,500,000	1,860,000	360,000	正会員 125名ほか
特別会費	500,000	500,000	0	赤目四十八滝渓谷保勝会
①会費収入計	2,000,000	2,360,000	360,000	
② 事業収入				
事業収入	20,000,000	18,555,597	△ 1,444,403	公益事業(まち歩き事業) 24,400 物産販促事業 371,275 青蓮寺湖ぶどう組合事務受託 233,620 名張市より ・名張駅前観光案内所運営 7,194,000 ・名張駅前(西口)公衆便所管理 666,600 ・名張市観光誘客推進 3,300,000 ・コミュニティ政策学会 168,300 ・名張市エコツアーリズム情報発信 82,500 ふるさと納税返礼品売上 6,514,902
③ 受取負担金	2,800,000	2,725,129	△ 74,871	青蓮寺湖ぶどう組合へ職員派遣
④ 雑収入				
受取利息収入他	50,000	101,647	51,647	青蓮寺ぶどう組合前売り券手数料 他
②～④の計	22,850,000	21,382,373	△ 1,467,627	
事業活動収入合計	24,850,000	23,742,373	△ 1,107,627	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
仕入原価	6,300,000	6,627,102	327,102	
臨時雇賃金	6,450,000	7,557,986	1,107,986	
福利厚生費	700,000	696,075	△ 3,925	
旅費交通費	500,000	523,446	23,446	ボランティアガイド研修 他
通信運搬費	110,000	385,923	275,923	FMなばり放送料、やしんぼセット送料、電話代 他
消耗品費	500,000	311,624	△ 188,376	事業用消耗品、駅前トイレ消耗品 他
修繕費	30,000	2,800	△ 27,200	
印刷製本費	1,000,000	271,519	△ 728,481	ガイドマップ改訂増刷
水道光熱費	30,000	82,321	52,321	駅前照明電気代
使用料及び賃借料	10,000	1,140,439	1,130,439	ボランティアガイド会議室使用料 他
保険料	10,000	15,370	5,370	事業参加者・ボランティアガイド保険料 他
負担金	40,000	40,060	60	共催負担金 他
委託料	4,500,000	3,919,010	△ 580,990	
補助金	1,500,000	0	△ 1,500,000	
広告料	1,300,000	188,310	△ 1,111,690	新聞広告料、ウェブ更新 他
租税公課	700,000	406,708	△ 293,292	
雑費	10,000	35,215	25,215	
事業費支出計	23,690,000	22,203,908	△ 1,486,092	

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
② 管理費支出				
賃金	2,250,000	201,856	△ 2,048,144	事務担当職員賃金 他
福利厚生費	410,000	541,367	131,367	社会保険料、職員健康診断 他
会議費	0	0	0	
交際費	20,000	0	△ 20,000	(慶弔費) 他
旅費交通費	0	370	370	
通信運搬費	440,000	209,147	△ 230,853	電話代、回線使用料、郵便料 他
減価償却費	45,000	44,600	△ 400	構築物償却(看板及び日除け幕分)
消耗什器備品費	200,000	0	△ 200,000	案内所ロッカー類
消耗品費	100,000	35,206	△ 64,794	事務用品 他
印刷製本費	120,000	16,610	△ 103,390	コピーカウント料 他
水道光熱費	120,000	6,048	△ 113,952	事務所・案内所電気代 他
使用料及び賃借料	1,050,000	187,319	△ 862,681	案内所家賃 792,000円、看板設置地代 30,000円パソコン・コピー機等リース料 他
保険料	50,000	0	△ 50,000	
租税公課	50,000	54,993	4,993	収入印紙代 他
修繕費	100,000	0	△ 100,000	
負担金	250,000	220,540	△ 29,460	名張川納涼花火大会協賛金、三重県観光連盟、 商工会議所他会費 他
委託費	750,000	643,410	△ 106,590	顧問税理士
支払手数料	30,000	42,845	12,845	口座振込手数料 他
支払利息	40,000	0	△ 40,000	借入返済利息
繰延資産償却	456,000	455,400	△ 600	案内所拡張改修工事協力金今年度償却分
雑費	10,000	11,830	1,830	
返済積立金	0	0	0	
予備費	800,000	0	△ 800,000	
管理費支出計	7,291,000	2,671,541	△ 4,619,459	
経常費用計	30,981,000	24,875,449	△ 6,105,551	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,131,000	△ 1,133,076	4,997,924	
当期経常増減額	△ 6,131,000	△ 1,133,076	4,997,924	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,131,000	△ 1,133,076	4,997,924	
法人税、住民税、及び事業税	200,000	72,000	△ 128,000	
一般正味財産期首残高	10,912,683	10,912,683	0	
一般正味財産期末残高	4,581,683	9,707,607	5,125,924	
II 正味財産期末残高	4,581,683	9,707,607	5,125,924	

※正味財産期末残高には、借入金早期返済資金として398,000円を含むものとします。

監 査 報 告

一般社団法人名張市観光協会定款第34条の規程により会計監査を行った結果、会計が正確であることを認めます。

令和 7 年 6 月 3 日

一般社団法人 名張市観光協会

監事 北村 泰弘 

監事 田 畑 博 

役員の変更について

任期中に3名の理事が辞任したことにもない、次の3名の理事を補欠として選任することについて承認願いたい。

補欠として選任する者 理事 姫子松 伸浩
 理事 雪岡 理道
 理事 川井 唯臣

(以下参考)

令和7年度 役員名簿 (案)

役 職	氏 名	事業所、団体 等	選出母体
会 長	市橋 雅美	有限会社賛急屋	
副会長	伊藤 英次	有限会社手づくり農園	
理 事	玖村 健史	特定非営利活動法人 赤目四十八滝溪谷保勝会	保勝会
〃	大谷 英紀	丸福精肉店	
〃	(案) 姫子松 伸浩	近畿日本鉄道株式会社 名張駅	
〃	(案) 雪岡 理道	青蓮寺湖ぶどう組合	ぶどう組合
〃	(案) 川井 唯臣	Community-Based-Travel	
監 事	田畑 博	株式会社メイハン	商工会議所
〃	北村 泰弘	青蓮寺レークホテル	

(順不同・敬称略)

※理事任期：令和6年6月3日～令和8年度定期総会

幹事任期：令和5年6月28日～令和9年度定期総会

令和7年度 事業計画 (案)

令和7年3月の訪日外客数は3,497,600人(前年同月比+13.5%)となり、都市部のオーバーツーリズムにより、インバウンド、国内旅行者共に「地方観光、穴場観光」への関心が高まっている。また、これまでの「見る観光」から、体験重視のアクティブ観光、ウェルネスやヒーリングなどの健康や癒しをテーマにした旅がトレンドであり、名張市の観光においても新たな価値創造と情報を届ける手法、各事業者の横連携が重要となる。令和7年度からの名張市観光協会新体制において、今一度名張市の観光コンテンツを整理し、明確な仕組みとコンセプトを構築、次年度からの収益事業拡大に向けた準備と会員を中心とする市内観光ネットワーク(拠点・ハブ)づくりを強化する1年とする。

I 公益事業に関わる事業

1 観光まち歩き事業

(1) ボランティアガイドと歩こう(全5回)

名張市広報及び観光協会公式ホームページにより公募する。(定員各60名)

開催予定日	テーマ等
4月3日(木)	「宣長(のりなが)も歩いた伊勢道」(約7Km)
5月25日(日)	「名張川河川改修とナマズを見に行こう」(約6Km)
10月20日(月)	「いにしへの伊勢みち 阿保宿から八丁越え」(約6Km)
11月 予定	「北島へ続く玄関口 長瀬を訪ねて」(約7Km)
12月13日(土)	「壬申古道を歩く」(約8Km)

(2) 『ボランティアガイド「おきつも」』の支援

観光ボランティアガイドで組織された団体『ボランティアガイド「おきつも」』を支援する。

○定例会

月1回開催の定例会に出席し、ボランティアガイドと観光協会の情報共有に努め、観光資源を発掘し観光誘客を推進する。

○ボランティアガイド研修会

他市町村の観光ボランティアガイドのノウハウを吸収するため、ボランティアガイド「おきつも」が開催する先進地視察研修会の実施を支援する。また、市内で地域づくり組織等が開催する郷土を知るための学習会への積極的な参加を促すため、開催情報等を提供する。

(3) 観光ボランティアガイドの活用促進

名張市の文化に触れ、地域の住民と交流しながら豊かで深い体験を味わっていただくために、ボランティアガイドを積極的に紹介する。

2 なばり観光案内所

既存の駅前観光案内所にプラスしてもう一つの拠点「赤目四十八滝観光案内所」を新設する。両拠点で土産物等の物販販売を行う。

駅前観光案内所：名張のまち歩きの出発点として、来訪者に対し季節やトレンドに応じた適切な観光情報を提供する。

赤目四十八滝観光案内所：赤目四十八滝を訪れる約12万人の観光客を市内他地域のコンテンツへ誘導することにより市内滞在時間、市内消費の拡大を目指す。

II 観光客の誘致促進に関する事業

1 インフォメーション業務について

観光案内所機能の充実

- 訪日外国人の受け入れ体制の充実
- パンフレット類配架スペースの有効活用
- 物販、一部カフェ機能における入りやすさ、親しみやすさの醸成

2 情報発信について

- (1) ホームページのリニューアルとSNSによる情報発信の強化
- (2) ガイドマップ、ポスター及びチラシによる情報発信
- (3) Googleビジネスプロフィールの活用による発信力の強化

3 プロモーション事業の推進について

- (1) 会員等の企画・提案によるイベント等の開催

①名張駅前イルミネーション事業の継続

②会員及び市民の自主的な企画・提案事業に対し、観光協会として積極的に参画し、イベント等の開催を支援する。必要に応じ、観光協会の共催又は後援事業として位置付ける。また、会員の自主性の尊重、非会員賛同者の積極的な受け入れ等会員の満足度向上と新たな会員確保につなげる。

- (2) 観光キャンペーン等の推進

三重県、名張市、伊賀市、三重県観光連盟、東奈良名張ツーリズム・マーケティング、特定非営利活動法人赤目四十八滝渓谷保勝会と連携することによりプロモーション活動を効果的に推進する。

- (3) 各種イベントへの参画

観光誘客及び名張市の地域経済の活性化を図るために各種イベントに参画する。

名張川納涼花火大会（実行委員会）、名張桜まつり（実行協議会）等

- (4) 企業主催イベントへの共催・後援

近畿日本鉄道株式会社、三重交通株式会社等の民間企業や民間団体が主催する事業と連携する。

(5) 市民団体・教育機関等との連携

観光誘客や地域活性化を目的とする市民団体や教育機関等が実施するイベントの主催者と連携を図る。

4 観光商品の販売促進・開発について

(1) ふるさと納税の返礼品受発注委託業務

新たな受注チャネルの導入による収益確保に努めるほか、会員の新規企画の具体化を積極的に支援する。

(2) 「やしんぼセット」事業

お菓子のまち「なばり」をアピールするツールとして、内容の改善を図る。

駅前、赤目、両案内所にてバラ売り、セット販売。

(3) 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に関連する取組

名張市産業活性化推進協議会と連携し、Googleビジネスプロフィールの活用支援に継続して取り組み、市内事業者の発信力を強化することで地域一体の効果の最大化を目指す。

(4) レンタサイクル事業

名張市が所有するクロスバイクを返却し、近畿日本鉄道系列の電動自転車シェアサイクル事業の導入を検討する。

(5) 新たな観光コンテンツの開発

- ・名張市エコツーリズム推進協議会と連携し、新たなコンテンツとしてエコツアーの開発、磨き上げに取り組み、観光協会のホームページで公募する。
- ・会員が主体となって造成する観光商品（体験コンテンツ、旅行商品）の開発を支援する。

(6) ガイド派遣体制の構築

既存のボランティアガイドに加え、旅行者のニーズを想定しエコツアーガイド、通訳ガイドの派遣体制の構築に向けた取組に着手する。

(7) 観光協会独自の土産品開発

観光客に選ばれる観光地として、市の魅力発信ができ市内への来訪・再訪を促進する土産物の開発を行う。

Ⅲ 会員事業と協会運営に関わる事業

1 新たな観光ニーズに即応できる協会運営の再構築について

行政、関係機関及び各種団体が一体となって名張市の観光振興を図ることを前提に、観光協会が果たすべき役割を明確化し、自主自立した協会運営を目指す。→令和7年7月 DMO申請予定

- 2 会員特典の明確化と会員数を増やす取組について
 - (1) 各種イベントへの参画機会の提供
会員に対し、出店者募集のあるイベント等の情報提供を行う。
 - (2) 会員情報の発信
 - ・戦略的なSNSによる情報発信
 - ・会員LINEグループを新設し、タイムリーに観光情報、連絡事項を共有
 - (3) 新規会員の獲得
観光協会が推進する今後の取組に賛同いただき、理解を得ながら、新規会員の獲得に努める。
- 3 職員体制の充実
積極的に研修会へ参加し、職員の能力向上に努める。

令和7年度 収支予算(案)

令和7年4月1日～令和8年3月31日

第5号議案

(単位：円)

科目	令和6年度予算	令和6年度実績	令和7年度予算	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 会費				
正会員会費収入	1,500,000	1,860,000	1,872,000	正会員 130名 賛助会員 5名
特別会費	500,000	500,000	500,000	赤目四十八滝渓谷保勝会
会費収入計	2,000,000	2,360,000	2,372,000	
② 事業収入				
事業収入	20,000,000	18,555,597	21,461,100	名張市からの受託事業 ・観光客誘致促進事業委託 7,196,000円 ・駅前公衆トイレ業務委託 661,100円 ・観光誘客推進事業 3,300,000円 ※R7年度終了 ふるさと納税返礼品 6,450,000円 ボランティアガイド料 24,000円 ガイド料 830,000円 駅前案内所物販 1,000,000円 赤目案内所物販 1,000,000円 イルミネーション協賛金 1,000,000円
③ 受取負担金	2,800,000	2,725,129	3,000,000	青蓮寺ぶどう組合職員派遣負担金
④ 雑収入				
受取利息収入他	50,000	101,647	35,000	青蓮寺ぶどう組合販売手数料、受取利息
⑤ 繰越金	0	0	0	
事業収入計	22,850,000	21,382,373	24,496,100	
事業活動収入合計	24,850,000	23,742,373	26,868,100	
2 事業活動支出				
① 事業費支出				
売上原価等	6,300,000	6,627,102	7,710,000	ふるさと納税返礼品 6,000,000円 駅前観光案内所 700,000円 赤目観光案内所 700,000円 ガイド案内原価 310,000円
賃金	6,450,000	7,557,986	9,185,480	事務担当職員賃金 等
福利厚生費	700,000	696,075	2,300,000	社会保険料 他
旅費交通費	500,000	523,446	500,000	有識者招聘旅費 等
通信運搬費	110,000	385,923	347,200	電話代・回線使用料、パンフレット送料 等
消耗品費	500,000	311,624	322,100	事業用消耗品、駅前トイレ消耗品 他
修繕費	30,000	2,800	0	レンタサイクル点検修理 他
印刷製本費	1,000,000	271,519	270,000	コピーカウント料、職員名刺印刷 等
水道光熱費	30,000	82,321	84,000	案内所電気代 イルミネーション電気代
使用料及び賃借料	10,000	1,140,439	3,288,000	案内所家賃 駐車場賃料 事務用品リース料 観光DX支援システム
保険料	10,000	15,370	30,000	ボランティアガイド、イベント保険
負担金	40,000	40,060	50,000	名張川納涼花火大会協賛金
委託料	4,500,000	3,919,010	1,269,000	ボランティアガイド、イルミネーション、廃棄物処理
補助金	1,500,000	0	0	企画提案型事業補助金
広告料	1,300,000	188,310	30,000	看板代
租税公課	700,000	406,708	0	(管理費に計上)
繰延資産償却	0	0	455,400	案内所拡張改修工事協力金 今年度償却分
雑費	10,000	35,215	36,000	借入返済利息
事業費支出計	23,690,000	22,203,908	25,877,180	
② 管理費支出				
賃金	2,250,000	201,856	2,805,000	事務担当職員賃金 等
福利厚生費	410,000	541,367	200,000	社会保険料、職員健康診断 等
交際費	20,000	0	0	慶弔費 等
旅費交通費	0	370	0	
通信運搬費	440,000	209,147	0	電話代・回線使用料、パンフレット送料 等 (事業費に計上)
減価償却費	45,000	44,600	45,000	構築物償却(看板及び日除け幕分) 等
消耗什器備品費	200,000	0	0	
消耗品費	100,000	35,206	320,000	トイレ消耗品、案内所事務用品 等
印刷製本費	120,000	16,610	30,000	コピーカウント料、職員名刺印刷 等
水道光熱費	120,000	6,048	0	案内所電気代 等
使用料及び賃借料	1,050,000	187,319	303,200	経理パソコンリース料、会計・勤怠管理ソフト 等
保険料	50,000	0	0	
租税公課	50,000	54,993	450,000	消費税・法人税・印紙税 等
修繕費	100,000	0	0	
負担金	250,000	220,540	220,000	三重県観光連盟、商工会議所 歴史街道推進協議会 他会費 等
委託費	750,000	643,410	525,800	税理士顧問料
支払手数料	30,000	42,845	42,000	口座振替手数料 等
支払利息	40,000	0	0	借入返済利息 (事業費に計上)
繰延資産償却	456,000	455,400	0	案内所拡張改修工事協力金 前年度償却分
雑費	10,000	11,830	0	燃料費 等
予備費	800,000	0	0	
管理費支出計	7,291,000	2,671,541	4,941,000	
経常費用計	30,981,000	24,875,449	30,818,180	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,131,000	△ 1,133,076	△ 3,950,080	
当期経常増減額	△ 6,131,000	△ 1,133,076	△ 3,950,080	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,131,000	△ 1,133,076	△ 3,950,080	
法人税、住民税、及び事業税	200,000	72,000	200,000	
一般正味財産期首残高	10,912,683	10,912,683	9,707,607	
一般正味財産期末残高	4,581,683	9,707,607	5,557,527	
II 正味財産期末残高	4,581,683	9,707,607	5,557,527	